

令和元年度
(2019年度)

健康福祉部の取り組み実績

<部の構成>

健康福祉総務課、地域健康福祉室、福祉指導監査課、特別定額給付金室

1. 重点施策・事業

(1) 「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」連携事業の推進

方向性	市内の公的病院や医療系大学、関係団体などが協定を締結し設立した「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」を活用して、各構成団体と連携しながら各種健康医療関連事業を実施し、市民の健康増進に繋がります。
取り組み	<p>コンソーシアムに掲げる8つの分野の連携事業に基づき、構成団体と連携して、災害時における医療救護体制の強化をはじめ、市内の医療機関への医療通訳士派遣や小中学生に対する健康教育、健康づくり・介護予防、産後ケア事業、健康医療に関する情報発信などの連携事業を推進します。また、コンソーシアム連携事業として、第31回枚方市健康・医療・福祉フェスティバルを10月に実施し、健康医療について市民への啓発を図ります。さらに、コンソーシアム連携事業として取り組む新規事業について検討します。</p> <p>《目標値》 コンソーシアム連携事業への参加人数：12,000人 (実績：平成30年度 5,808人)</p> <p>平成31年度当初予算：954万1千円</p>
実績	<p>構成団体と連携して、各種の市民向け講座等の実施や、学校における健康教育等を行いました。また、市内医療機関への医療通訳士派遣を実施し、3月末時点で554件の利用がありました。9月に医療通訳士養成講座を実施し、2名の医療通訳士を登録しました。</p> <p>第31回枚方市健康・医療・福祉フェスティバルを、10月27日に実施し、延べ8,053人の参加がありました。また、コンソーシアムの新規事業として受動喫煙をテーマに講演会・シンポジウムを開催しました。</p> <p>目標値であるコンソーシアム連携事業の参加人数については、13,371人の参加がありました。</p> <p>令和元年度決算：8,318千円</p>
<p>取り組みに対する達成状況 【 ○ 】</p>	

(2) 救急医療体制の整備

方向性	本市には、北河内夜間救急センターや枚方休日急病診療所などの初期救急医療機関から関西医科大学附属病院の高度救命救急医療機関まで、救急医療体制が整備されてお
-----	--

	り、この機能を維持し、引き続き確保します。また、老朽化した医師会館及び休日急病診療所の市立ひらかた病院整備後の有効活用地への移転に伴う総合的な初期救急医療体制の再構築を進めます。
取り組み	<p>関西医科大学附属病院をはじめとする救急医療機関を支援するとともに、北河内夜間救急センターの事務局として、年間を通じた夜間小児救急医療の円滑な提供に努めます。また、昨年度に引き続き、市立ひらかた病院整備後の有効活用地へ移転する医師会館及び休日急病診療所、北河内夜間救急センター、休日歯科急病診療所の総合的な初期救急医療体制の再構築に向けて、運営及び費用負担等について、関係諸団体、諸機関と協議・調整を行います。</p> <p>平成 31 年度当初予算：2 億 2311 万 5 千円</p>
実績	<p>休日歯科急病診療所、関西医科大学附属病院の高度救命医療に対して支援を行いました。北河内夜間救急センターについては、夜間における小児救急医療の円滑な提供に努めるとともに、運営経費の北河内 7 市における負担金の割合について、実態に即した見直しの合意を得ました。また、初期救急医療体制の再構築に向けて、引き続き運営及び費用負担等について、関係諸団体及び諸機関との協議・調整を進めました。</p> <p>令和元年度決算：221,871 千円</p>
取り組みに対する達成状況 【 ○ 】	

(3) 災害時の医療救護体制の強化

方向性	災害時の医療救護体制の強化に向けて、関係機関との連携を進めます。
取り組み	<p>災害時の医療救護体制の強化に向けて策定した「枚方市災害時医療救護活動マニュアル」を、より実効性のあるものとするため、関係機関と協議・調整を行いながら連携強化に努めます。また、10 月に拠点応急救護所設置病院の一つである枚方公済病院において実践を想定した災害医療訓練を行い、関係機関との連携強化を進めます。</p> <p>《目標値》</p> <p>拠点応急救護所設置病院における災害医療救護活動訓練の実施率（累計）：令和元年度（2019 年度）までに 80%（実績：平成 30 年度までに 60%実施）</p> <p>平成 31 年度当初予算：155 万 7 千円</p>
実績	<p>災害時の医療救護体制の強化に向け、6 月の総合防災訓練「枚方ひこ防' z2019」において、拠点応急救護所設置訓練を実施しました。10 月 9 日に枚方公済病院において関係機関と連携した災害医療訓練を実施しました。直前の 9 月には部内職員を対象とした拠点応急救護所設置に係る研修会を実施し、理解を深めました。これに伴い、目標値である拠点応急救護所設置病院における災害医療救護活動訓練の実施率（累計）80%を達成しました。また、備蓄医薬品の品目や数量、設置場所の見直しを行うとともに、「枚方市拠点応急救護所設置・運営マニュアル」策定に向け、人員配置や、</p>



	資機材の備蓄等について関係機関と協議を進めています。
	令和元年度決算：1,095 千円
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

(4) ひらかたポイント制度の充実	
方向性	市民・事業者等あらゆる主体との協働による、効率的・効果的な行政サービスの提供が求められている中、健康・長寿・子育てなど市の実施事業等へ参画した市民にポイントを付与し、市民の参画意欲の向上を図ることで、市民のまちづくりへの関心を高め、本市への愛着を深めるとともに、本市の魅力向上、地域経済の活性化につなげます。
取り組み	平成 31 年 1 月から運用を開始したひらかたポイント制度について、登録者の増加や協力店舗の拡大に取り組むとともに、対象事業の拡大を図ることで制度の充実を図ります。 ≪目標値≫（令和元年度(2019 年度)まで） カード保有者数 100,000 人 協力店舗数 200 店舗 平成 31 年度当初予算：63,132 千円
実績	平成 31 年 4 月より、特定健診、各種がん検診等、ポイント付与対象事業を 16 事業に拡大したほか、京阪バスポイントサービスとの連携によりポイント利用範囲を拡充しました。また、委託事業者と連携し、市内事業者に対して協力店舗としての参入を働きかけ、3 月末時点で協力店舗数は 173 店舗、カード保有者数は約 52,400 人と、目標値に対して達成できていない状況です。引き続きポイントカード利用者の拡大に向けて地域や企業、イベントなどでの PR を行うとともに、新たな市事業の追加、協力店舗の拡充に取り組めます。 令和元年度決算：42,270 千円
取り組みに対する達成状況	【 △ 】

(5) 地域福祉のさらなる推進	
方向性	あらゆる世代の人が健やかに生きがいを持って暮らせるまちづくりを進めるために、民生委員・児童委員や社会福祉協議会といった関係機関等とも連携しながら、多様化・複雑化する生活課題を抱える人への支援体制の充実や環境整備など、地域福祉のさらなる推進に取り組めます。
取り組み	社会福祉法に基づき策定している「枚方市地域福祉計画（第 3 期）」は今年度が計画期間の最終年度のため、次年度から 5 年間の計画期間とする第 4 期計画を、意識調査の結果なども踏まえながら策定します。 また、現民生委員・児童委員が本年 11 月 30 日で任期満了(任期 3 年)を迎えるため、一斉改選を円滑に行います。

	<p>《目標値》 民生委員・児童委員の一斉改選時における充足率：100%</p>
実績	<p>地域福祉を総合的に推進するための計画として、外部委員で構成される社会福祉審議会地域福祉専門分科会において6回に亘り審議を行い、市民意識調査や市民意見聴取等の結果も踏まえながら、令和2年度から令和6年までの5年間の計画期間とした枚方市地域福祉計画（第4期）を策定しました。</p> <p>民生委員・児童委員の3年間の任期が満了になったことに伴う一斉改選の事務手続を行いました。本市では民生委員・児童委員428人、主任児童委員37人が委嘱されました。（定数：民生委員・児童委員500人、主任児童委員45人 充足率：85.3%）。</p> <p>令和元年度決算：7,774千円</p>
<p>取り組みに対する達成状況</p>	
<p>【 ○ 】</p>	

<p>（6）改正生活保護法等への的確な対応</p>	
方向性	<p>昨年6月に社会福祉法及び生活保護法が改正され、無料低額宿泊所等の事前届出制の導入など、いわゆる「貧困ビジネス」への規制の強化を図るとともに、単独での居住が困難な生活保護受給者への日常生活上の支援を委託する仕組みについて、来年度からの施行が予定されています。法改正の内容についての的確に対応し、施行時に適切に支援が行えるよう努めます。</p>
取り組み	<p>今年度内に、無料低額宿泊所等（社会福祉住居施設）の人員・設備・運営に関する最低基準等を条例で定める必要があり、また、来年度以降には日常生活上の支援に係る費用が必要となる場合も想定されることから、情報収集と準備等に努めます。</p>
実績	<p>令和2年（2020年）3月、「枚方市無料低額宿泊所の設備及び運営に関する基準を定める条例」及び「枚方市無料低額宿泊所の設備及び運営に関する基準を定める条例施行規則」を制定しました。</p>
<p>取り組みに対する達成状況</p>	
<p>【 ○ 】</p>	

<p>（7）枚方市障害福祉計画（第5期）・枚方市障害児福祉計画（第1期）に基づく障害者施策の推進</p>	
方向性	<p>平成30年3月に策定した枚方市障害福祉計画（第5期）・枚方市障害児福祉計画（第1期）に基づき、障害者の自立支援や社会参加に係る取り組み及び、障害児へのサービス提供体制の整備など、障害者施策の推進に努めます。</p>
取り組み	<p>計画に定めた障害福祉サービスの見込み量や整備の方向について、進捗管理や状況把握に努めるとともに、成果目標として設定している「地域生活支援拠点の整備」や「障害者の就労支援策」などについて、検討していきます。また、障害児福祉計画（第1期）に基づく、医療的ケア児等の支援のための関係機関による協議の場の設置や、支援の調整を行うコーディネーターの配置を行います。</p> <p>《目標値》</p> <p>福祉施設から一般就労への移行者数66名（令和2年度（2020年度））</p>

実績	<p>「地域生活支援拠点の整備」については令和2年度（2020年度）中の整備に向けて自立支援協議会で事業形態等について協議を続けています。</p> <p>「障害者の就労支援策」については、1月31日には障害者合同就職面接会をハローワーク等関係機関と連携の上開催し、79名（延べ125名）の参加がありました。なお、福祉施設から一般就労への移行者数については令和元年度暫定値で75名です。</p> <p>また、医療的ケア児等の支援のための協議の場や、コーディネーターの配置については、4月より基幹相談支援センターのうち1箇所にコーディネーターの配置を行い、11月には市内に所在する保健・医療・障害福祉・保育・教育等の関係機関による連絡会議の開催により、医療的ケア児等の現状についての情報共有、関係機関の連携が図られました。</p>
	令和元年度決算：5,446千円
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

（8）介護予防・日常生活支援総合事業の実施	
方向性	適切な生活支援と介護予防を一体的に提供することで、高齢者がいきいきと生活できる環境づくりを進めます。
取り組み	<p>リハビリテーション専門職等を活用した市独自の介護予防・生活支援サービス事業では、要支援認定者等の心身の機能を引き上げる効果的なサービス提供を継続します。また、自身の状態を確認できる測定等の実施体制を構築し、測定データを活用して、元気を取り戻した高齢者がその状態を維持できるよう、身近な場所での自主的な介護予防活動を支援します。</p> <p>また、「元気づくり・地域づくりプロジェクト」では、地域と共に考え、効果的な方策の具体化につなげるなど、高齢者の社会参加を促進し、支える体制づくりに継続して取り組みます。</p> <p>《目標値》 第7期計画期間（平成30～32年度）の目標 ひらかた元気くらわんか体操の実施グループ数 185グループ（平成30年度実績：192グループ） ひらかた元気くらわんか体操の実施グループ参加者のうち歩行機能が改善した人の割合 70%（事業開始時の初期値：44.2%）</p> <p>平成31年度当初予算： 1,493,242千円</p>
実績	<p>リハビリテーション専門職等を活用した市独自の介護予防・生活支援サービス事業については、効果的なサービス提供を継続しつつ、身近な場所での自主的な介護予防活動の拡充に向け取り組みを進めてきました。</p> <p>「元気づくり・地域づくりプロジェクト」では、地域の特性に応じた様々な取り組みや活動内容を共有し、身近な場所で地域のニーズに応じた介護予防の普及啓発を行う地域元気づくり教室の開催支援を行いました。</p> <p>《ひらかた元気くらわんか体操の実施グループ数：295グループ》 《ひらかた元気くらわんか体操の実施グループ参加者のうち歩行状態が改善した</p>

	人の割合：56.34%》
	令和元年度決算：1,035,916千円
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

(9) 認知症施策の推進	
方向性	認知症高齢者が尊厳を持ち、できる限り住み慣れた地域で自立した生活を送ることができるよう、認知症に対する正しい知識を普及するとともに、ニーズに沿った支援と権利擁護の取り組みを進めます。
取り組み	<p>認知症サポーターの養成を継続するとともに、市内で活動している認知症カフェの交流会を開催するなど、「認知症にやさしい地域づくり」に向けた取り組みを支援していきます。</p> <p>また、早期の支援につなげるため認知症初期集中支援チームの周知と活用を図るとともに、すべての高齢者サポートセンターに認知症地域支援推進員を継続して配置し、地域の実情に応じた相談支援を行います。</p> <p>更に成年後見制度の普及や市民後見制度の整備を進め、関係機関と連携して消費者被害や高齢者虐待等の発生の予防・早期発見から必要な支援につなげていきます。</p> <p>《目標値》</p> <p>認知症地域支援推進員の配置数 19人（平成30年度実績：17人）</p> <p>平成31年度当初予算：15,381千円</p>
実績	<p>認知症サポーター養成講座（開催回数36回）にて1,316人のサポーターを養成するとともに、認知症カフェ交流会（令和2年2月開催）による活動支援を行いました。</p> <p>また、早期の相談支援や認知症初期集中支援チームの周知・普及として、「認知症ケアパス」を10,000部配布するとともに、高齢者の総合相談窓口として、地域包括支援センターにて22,829件の相談支援を行いました。</p> <p>また、消費者被害防止のネットワーク強化を図るため、消費者安全確保地域協議会へ参画するとともに、SOSネットワークを活用した協力事業所への啓発を行いました。</p> <p>さらに、高齢者虐待の防止・早期発見のためのチラシ等の普及啓発の媒体を新たに作成するとともに、高齢者サポートセンターによる各圏域での広報啓発活動を行いました。</p> <p>《認知症地域支援推進員の配置数：19人》</p> <p>令和元年度決算：8,092千円</p>
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

(10) 在宅医療・介護連携の推進	
方向性	高齢化の進展に伴い、医療と介護の両方の支援を必要とする高齢者の増加が予測されています。高齢者が安心して在宅生活を送ることができる環境整備を目指し、医療と介護の円滑な相互連携を図ります。
取り組み	<p>医療・介護の関係者で構成する「地域ケア推進実務者連絡協議会」や、高齢者サポートセンターを中心とした多職種連携の研修などを通して、相互理解の取り組みを進めます。また、医療・介護専門職向けの在宅医療・介護連携支援の電話相談窓口の受付時間帯を拡大するとともに、より効果的な実施方法を検討していきます。</p> <p>また、市民が人生の最期の過ごし方を選択し、地域で安心して生活することができるよう、在宅における看取りの普及啓発を行うとともに、身寄りのないひとり暮らしの高齢者等についても、緊急時にご本人の意思が尊重されるような支援のあり方を検討します。</p> <p>《目標値》</p> <p>地域ケア推進実務者連絡協議会等の開催回数（部会を含む） 27回 (平成30年度実績：27回)</p> <p>平成31年度当初予算： 41,913千円</p>
実績	<p>医療・介護専門職向けの在宅医療・介護連携支援相談窓口の受付回数を週1回から週3回へ拡充するとともに、ご本人が人生の最期の過ごし方を選択し、地域で安心して生活することができるよう、在宅における看取りを啓発するために市民向けの講座を開催（参加者117名）し、新たに作成したパンフレットを配付しました。あわせて専門職向けの講座を開催（参加者84名）するとともに、支援者向けのパンフレットを作成し、関係機関や介護事業者等への周知を行いました。</p> <p>また、在宅医療・介護連携のために、医療・介護の専門職を対象とした研修を計6回開催（計289名）しました。</p> <p>《地域ケア推進実務者連絡協議会等の開催回数（部会を含む）：23回》</p> <p>令和元年度決算：41,279千円</p>
取り組みに対する達成状況 【 ○ 】	

(11) 高齢者お出かけ推進事業の実施	
方向性	高齢者が外出する機会を増やすための後押しやきっかけとなる仕組みとして実施し、人と人との交流・社会参加の促進・生きがいづくり・健康づくりに資する活動を通じた健康寿命の延伸や介護予防の推進を図ります。
取り組み	高齢者お出かけ推進事業では、ポイント付与対象事業に参加した市民が、高齢者お出かけ推進手帳に高齢者専用ポイント（シール）を貯めて、京阪バスポイントへの交換や市内協力店舗での買い物で使用できる「ひらかたポイント」や、楽寿荘及び総合福祉センターの使用料として使用できる「高齢者お出かけ推進チケット」に交換することができます。この仕組みにより、自主的かつ継続的な外出をしていただくことで、介護予防の推進と健康寿命の延伸につなげることを目指します。

	<p>また、ポイント付与対象事業の追加、高齢者お出かけ推進チケット活用先の追加、ポイント交換場所の増設など、事業の拡充に向けて検討を進めます。</p> <p>《目標値》</p> <p>高齢者お出かけ推進手帳配付部数 20,000 部</p> <p>高齢者へのポイント付与数 9,674,000 ポイント</p> <p>平成 31 年度当初予算：1,366 千円</p>
実績	<p>平成 31 年 4 月から事業を開始し、楽寿荘の教養講座や総合福祉センターの各種講座をはじめ、介護予防イベントや健康づくりにつながる講座など、ポイント付与対象事業の参加者等に対して「高齢者お出かけ推進手帳」を配付し、高齢者専用ポイントまたはひらかたポイントを付与しています。令和 2 年 2 月からは、高齢者専用ポイントの付与対象事業として、「高齢者居場所」を追加しました。</p> <p>令和 2 年度から、高齢者専用ポイントをタクシークーポンに交換できるよう準備を進めるなど、ポイントの活用方法を工夫し、引き続き、高齢者のお出かけ推進に向けて検討を進めます。</p> <p>《実績値》</p> <p>高齢者お出かけ推進手帳配付部数 約 4,800 部</p> <p>高齢者専用ポイント付与数 991,540 ポイント</p> <p>令和元年度決算：1,280 千円</p>
<p>取り組みに対する達成状況</p> <p style="text-align: right;">【 △ 】</p>	

<p>(12) 広域型特別養護老人ホームの増築等や地域密着型サービスの整備</p>	
方向性	<p>介護を必要とする高齢者の増加を踏まえ、広域型特別養護老人ホームの増築等や、地域密着型サービスの整備に向けた取り組みを進めます。</p>
取り組み	<p>ひらかた高齢者保健福祉計画 21（第 7 期）に基づき、平成 30 年度に整備事業候補者を選定した広域型特別養護老人ホームの増築等や、地域密着型特別養護老人ホーム・看護小規模多機能型居宅介護等の整備に向けた進捗状況を確認するとともに、引き続き、小規模多機能型居宅介護などの地域密着型サービスや特定施設入居者生活介護等の整備を行う事業者を公募し選定します。</p> <p>《目標値》</p> <p>第 7 期計画期間（平成 30～32 年度）の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ●既存広域型特別養護老人ホームの増築等 95 床 ●地域密着型特別養護老人ホーム 58 床（87 床） ●小規模多機能型居宅介護 2 か所（2 か所） ●既存グループホームの増築等 36 床（18 床） ●特定施設入居者生活介護 70 床（60 床） など <p style="text-align: right;">※（ ）内は第 6 期（平成 27～29 年度）実績</p> <p>平成 31 年度当初予算：596,077 千円</p>

実績	<p>平成 30 年度に整備事業候補者を選定した広域型特別養護老人ホームの増築等 95 床分のうち、ショートステイ床からの転換により 15 床分の整備が完了しました。残りの 80 床分と、地域密着型特別養護老人ホーム・看護小規模多機能型居宅介護の整備についても、着実に進捗していることを確認しています。</p> <p>また、特定施設入居者生活介護や地域密着型サービス等の整備を行う事業者を公募し、認知症高齢者グループホームの増床 9 床、特定施設入居者生活介護 70 床の整備事業候補者をそれぞれ選定しました。</p>
	令和元年度決算：73,305 千円
<p>取り組みに対する達成状況 【 ○ 】</p>	

<p>(13) 働く世代の健康づくり支援</p>	
方向性	<p>生活習慣病予防やメンタルヘルス対策を行うには、生涯を通じた健康づくりを支援する必要があります。がんをはじめとする生活習慣病やメンタルヘルスの不調は、働き盛りの年代に端を発していることが多く、健康で長く働き続けるためには企業が健康づくりに取り組むことが重要です。特に、今年度は、健康増進法の改正や法よりも厳しい基準を定めた大阪府受動喫煙防止条例（平成 31 年 3 月制定）に基づき従業員への受動喫煙を防止する取り組みを支援していきます。企業が健康投資を行うことは、業績向上やイメージアップにつながると期待されており、経営戦略として従業員の健康づくりに取り組む「健康経営」へと繋がるよう、企業が従業員に対して行う健康づくり活動を保健所が支援し、働く世代の健康に対する意識の向上を図ります。</p>
取り組み	<p>「ひらかた健康優良企業」に登録された企業に対して、健康づくりの取り組みを企業とともに検討し、健康に関する情報提供や企業への健康教育などの支援を積極的に行います。また、市のホームページに掲載するなど、健康づくりを通じて企業のイメージアップを図ります。</p> <p>また、受動喫煙防止対策については、オール大阪で取り組む大阪府受動喫煙防止条例の趣旨を踏まえ、受動喫煙防止対策に係る周知・啓発及び監視体制を整備します。</p> <p>《目標値》</p> <p>ひらかた健康優良企業への健康教育の実施回数：20 回（13 回）</p> <p>※（）内は平成 30 年度実績。</p> <p>平成 31 年度当初予算：298 千円</p>
実績	<p>9 月 12 日開催の「たまゆらフェスタ」に参加し、枚方市内の企業に対して、「ひらかた健康優良企業」の PR を行いました。枚方体育協会と協力し、健康経営セミナーを 10 月 3 日に開催。「ひらかた健康優良企業」にも案内するとともに、ホームページ等で周知を行いました。</p> <p>また、「ひらかた健康優良企業」のうち、女性のがんについて 2 社、腰痛予防 2 社、歯科保健 1 社に対して健康教育を実施したほか、歯科に関する健康相談を 1 社に対して行いました。</p>

	<p>さらに受動喫煙対策として、改正健康増進法及び大阪府受動喫煙防止条例の周知、啓発を行いました。</p> <p>ひらかた健康優良企業への健康教育の実施回数：6回（コロナウイルス感染対策のため減少）</p> <p>令和元年度決算：236千円</p>
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

(14) 風しん対策事業の拡充

方向性	<p>風しんの発生及びまん延防止、さらに新生児の先天性風しん症候群の発生を防ぐことを目的に、妊娠を希望する女性やその配偶者及び妊婦の配偶者を対象とした、風しん対策事業を継続するとともに、新たに抗体保有率の低い世代の男性を対象とした追加的対策を実施します。</p>
取り組み	<p>現在の風しん対策事業に加え、新たに風しんの抗体保有率の低い昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性に対し、無料で抗体検査を実施し、抗体を持たない者を対象に定期予防接種を行います。また、特に抗体保有率が低いとされている年代（約2万1000人）に対し検査および予防接種の無料クーポン券を配付し、周知啓発に努めます。</p> <p>《目標値》</p> <p>抗体検査：実施者数6,100人（1,420人）</p> <p>予防接種：接種者数2,300人（950人）</p> <p>※（）内は平成30年度見込み実績。</p> <p>平成31年度当初予算：57,563千円</p>
実績	<p>広報ひらかたや市のホームページ、取扱医療機関におけるポスター掲示などのほか、令和元年（2019年）6月に抗体検査及び予防接種の無料クーポン券を対象者21,286人に発送し周知啓発に取り組んだことにより、抗体検査4,177人、予防接種1,367人の検査及び接種につながりました。</p> <p>令和元年度決算：38,190千円</p>
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

(15) 妊娠・出産から子育て期までの切れ目のない支援の更なる推進

方向性	<p>安心して楽しく子育てできる環境の充実に向けて、子育ての不安感や孤立感を取り除き、喜びを感じながら子育てができるよう、妊娠、出産から子育て期にわたる切れ目のない支援をさらに推進します。</p>
取り組み	<p>妊娠・出産・子育てに不安や悩みを抱える人が必要な支援につながるよう、相談窓口や産後ケア事業等の更なる周知を行うとともに、連携会議（母子保健推進連絡会、産前産後サポート部会）等を通して、医療機関・助産所と妊産婦支援の課題を共有し、連携強化を図ります。</p>

	<p>また、妊娠・出産から子育て期に引き続き、成人・高齢期まで切れ目なく、地域で健康や子育てに関する相談・支援を実施する拠点として、北部支所内に開設した「すこやか健康相談室 北部リーフ」の効果と課題を整理し、他部署・関係機関との連携を含め、より効果的な地域拠点のあり方を検討します。</p> <p>平成 31 年度当初予算：355,353 千円</p>
実績	<p>8 月 8 日に産前産後サポート部会を実施し、市内の産科医療機関・助産所と産後ケア事業等についての周知依頼及び意見交換を行いました。地域での活動の充実を図るため、「すこやか健康相談室 北部リーフ」で、健康に関する相談を 4,993 人に行い、出前健康講座を 92 件、受講者数 2,121 人に行いました。身近な地域で妊娠、子育てに関することから高齢者まで、いつでも相談でき、地域の集まりに出向いての健康講座や健康相談、家庭訪問など、積極的なアウトリーチの展開が図れました。</p> <p>令和元年度決算：323,759 千円</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

(16) 指導監査業務に係る法令等の改正への適正な対応	
方向性	<p>児童福祉法施行令及び地方自治法施行令の改正等に伴い、本年 4 月から新たに移譲された障害児通所支援事業者の指定等の事務に対して適正に対応するとともに、サービス毎の集団指導等の実施により、福祉関連法人への情報発信に取り組みます。また、新たな制度内容を指導監督業務に反映させ、福祉施設等の適正な管理と安定的な運営体制の確保につなげることで、福祉サービスの質の向上を図ります。</p>
取り組み	<p>新たに中核市の事務として位置づけられた、障害児通所支援事業所（放課後等デイサービス、児童発達支援、保育所等訪問支援等）の指定及び業務管理の事務について、基準を定めた条例を制定し、適切な指定・指導を行います。</p> <p>介護保険サービス及び障害福祉サービスにおける新たな基準については、指導監査業務等に反映し、事業者の適切なサービス提供につなげます。</p> <p>介護保険・障害福祉サービス事業の報酬改定等に的確に対応するため、国等への情報収集力を高めます。</p> <p>社会福祉法人等の監理業務においては、適正な法人運営と円滑な社会福祉事業の確保を図ることを目的とし、指導監督を行います。</p>
実績	<p>新たに中核市の事務となった障害児通所支援事業所の指定等に係る事務について、4 月より業務を開始し、基準条例については 12 月定例会に諮り、制定しました。介護保険・障害福祉サービス事業者に対して集団指導等を開催し、各サービスにおける指定基準の改正や報酬改定などについて情報提供を行いました。また、基準や報酬に係る国の通知等を市ホームページに掲載して周知を図るとともに、実地指導や指定業務を通じて個別にも指導・助言を行いました。</p> <p>社会福祉法人等に対しては、実地監査を通じて法人運営や社会福祉事業の運営について、指導・助言を行いました。</p>

取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】
--------------	-------

(17) 医療費適正化に向けた取り組みの推進	
方向性	国民健康保険被保険者の健康の保持・増進に向け、生活習慣病予防や重症化予防につながる特定健康診査をはじめとする各種保健事業の受診率・利用率の向上に向けた取り組みを拡充し、医療費適正化を図ります。
取り組み	<p>特定健康診査・特定保健指導・糖尿病性腎症重症化予防事業について、「ひらかたポイント」の対象事業とするとともに、おおさか健活マイレージ「アスマイル」の周知を図り、受診率・利用率の向上を図ります。また、健康への関心や健診受診への意識を高めるため、簡単にセルフチェックができる「生活習慣病チェックサイト」の周知を行うとともに、若年層向けに実施しているスマートフォンを利用した簡易な健診の利用促進を図ることで、特定健康診査対象年齢に達した時に受診につながるよう啓発に努めます。</p> <p>《目標値》 特定健康診査受診率 60%（国目標） （実績：平成29年度受診率：33.7%）</p> <p>平成31年度当初予算：415,980千円</p>
実績	<p>「ひらかたポイント」について、特定健康診査受診券にチラシを同封し、健診対象者全員に周知を行い、2,468人にポイントを付与しました。また、おおさか健活マイレージ「アスマイル」については、納付通知書にチラシを同封し、国民健康保険加入の全世帯に周知を行い、受診率・利用率向上をはかりました。スマートフォンを利用した健診ツールである「スマホ de ドック」について、対象者1,619人（国民健康保険加入の30歳、35歳、39歳）に案内状を送付し、啓発に努めました。</p> <p>令和元年度受診率：33.6% 令和2年5月末時点速報値 令和元年度決算：316,411千円</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

2. 行政改革・業務改善

◆新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
8-2. 国民健康保険特別会計の経営健全化（特定健康診査の受診率の向上）	「第3期特定健康診査等実施計画・第2期データヘルス計画」に基づき、特定健診未受診者への受診勧奨の強化等を進めるとともに、ひらかたポイント事業との連携や生活習慣病チェックサイトの活用等により特定健診受診率の向上を図ります。また、糖尿病性腎症重症化予防事業の拡充等、生活習慣病の予防及び重症化予

	防に向けた取り組みを推進します。
実績	<p>特定健診受診率の向上を図るため、未受診者に対し、はがきや電話による個別的な受診勧奨を実施するとともに、特定健診受診者に対するインセンティブとしてひらかたポイントを付与するなど取り組みを進めた。</p> <p>また、糖尿病性腎症重症化予防事業を継続実施するとともに、過去の事業参加者へのフォローを実施するなど重症化予防に向けた取り組みを進めた。</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
14. 外郭団体等の経営健全化の促進	<p>枚方市社会福祉協議会については、枚方市社会福祉協議会が策定した経営戦略プログラムの進捗管理等により、経営健全化の促進に向けた連携・協力に取り組みます。</p> <p>シルバー人材センターについては、事業を適切に進捗確認します。</p> <p>また、センターの自主事業に対する事業補助金についても、その事業の進捗状況等の確認を行います。</p>
実績	<p>枚方市社会福祉協議会への委託事業（随意契約分）について、事業途中での点検や検証を行う中間評価に取り組んだ。また、中間評価を踏まえ、令和2年度に向けた事業の実施体制等に関する協議を同協議会と行った。</p> <p>シルバー人材センターに対する補助金について、令和元年度からセンターが実施する事業を効果的に支援していく事業費補助金として見直しを行い、補助対象事業の進捗状況等を確認した。</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
23. くすの木園のあり方の検討	令和2年（2020年）4月の民営化に向けて運営法人を選定、現行指定管理者と新法人の間で運営についての円滑な引継ぎを実施します。
実績	公募により運営法人を決定し、現行指定管理者と新法人の間で運営についての円滑な引継ぎのうえで、令和2年（2020年）4月から新法人による運営が開始された。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
42. くずは北デイサービスセンターの民営化	令和4年度（2022年度）まで指定管理者による運営を継続し、当該施設のあり方も含めた課題の検証を行うなど、より効率的・効果的な運営について検討を行います。
実績	指定管理者による運営を実施しながら、当該施設のあり方も含めた課題の検証を行うなど、より効率的・効果的な運営について検討を行った。

取り組みに対する達成状況	【 △ 】
--------------	-------

◆業務改善のテーマ・目標

テーマ	取り組み内容・目標
満足度の高い窓口対応	窓口アンケートの実施や窓口マニュアルを活用し、市民満足度の向上に努めます。また、障害福祉担当で作成した「窓口における障害のある市民に対する配慮マニュアル」を活用し、障害者に対する適切な対応に努めます。
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口マニュアルを活用し、窓口対応の向上を図るとともに、職員同士の役割分担の明確化や連携を強化することで、業務の精度を上げ、窓口での待ち時間の短縮に努めた。 ・「窓口における障害のある市民に対する配慮マニュアル」を活用し、障害者に対して適切な対応に努めた。 ・アンケートを実施し、市民からの意見をもとに職員の窓口での対応や待ち時間、わかりやすい説明を心掛けているか等を再確認し、市民サービスの向上に努めた。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

テーマ	取り組み内容・目標
ペーパーレス化の徹底	市民からの各種相談対応からサービスの提供まで、福祉制度に関する広範囲な業務を実施しており、各業務に係る印刷物も膨大となりがちであることから、両面・冊子印刷やメール機能、紙の電子化等の活用により、部内全体でのペーパーレス化を徹底します。
実績	ペーパーレス会議の取組のほか、帳票類の不必要な部数の印刷や据置きをせずに必要に応じて打ち出すなど、紙の省力化に努めた。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

テーマ	取り組み内容・目標
業務の標準化	福祉制度に関する情報収集に取り組みながら、業務マニュアルの見直しや職員間での情報の共有化などを定期的に行います。
実績	国・府からの法改正等の通知を把握した上で、実地指導業務等のチェックリストを見直し、職員間での情報共有を行った。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

テーマ	取り組み内容・目標
健康増進計画の効果的推進	健康増進計画の中間評価結果をふまえ、計画最終年度までの目標達成に向け、組織横断的な推進体制の設置や地域別展開などを通して、健康づくり施策の効果的推進を図ります。

実績	関係各課における健康づくりに関する進捗状況を確認するとともに、保健企画課が取り組む地域職域連携事業との連携を図り、壮年期へのアプローチを行った。また、北部リーフを中心に地区担当保健師の活動を通して、地域における健康づくりの推進を図った。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

3. 予算編成・執行

- ◆生活保護費や障害福祉サービスなど社会保障関連経費の増加が予想される中、事業内容の精査を行い、必要な財源の確保に努めながら予算編成を行いました。

実績	・生活保護受給者等にかかる扶助費 130 億 6797 万 6178 円の支出に対する財源として、生活保護費等国庫負担金 97 億 3608 万 6000 円を確保しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆引き続き、生活保護の実施体制等の強化を図るための「生活困窮者就労準備支援事業費等補助金」等の国庫補助金を活用するなど、必要な財源確保に努めます。

実績	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金や生活保護適正化等事業費補助金を活用し、4015 万 5000 円の財源を確保しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆介護保険事業者の指定等に係る手数料を徴収することで、適切な財源確保に努めます。

実績	新規申請 49 件、更新申請等 146 件、合計 195 件の申請があり、申請手数料として総額 309 万 6000 円の収入を得ました。また、未収金はなく、すべて徴収することができました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆ひらかた高齢者保健福祉計画 21（第 7 期）（計画期間：平成 30～32 年度）に基づき、適正な予算編成・執行に努めます。

実績	適正な予算編成・執行に努め、介護保険給付費は、第 7 期計画の範囲内で推移しています。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

4. 組織運営・人材育成

- ◆「枚方市新型インフルエンザ等対策行動計画」に基づいて平成 27 年度に策定したマニュアルを踏まえ、研修を実施するとともに、班体制の整備や訓練実施に向けた関係課との検討・協議を行います。

実績	9月3日に第1回全体研修を実施した後、実施体制班ごとに研修を行いました。また、新型インフルエンザ発生を想定した訓練に参加し、新型インフルエンザ等発生時の行政及び医療機関の動きや患者の搬送・引き渡しの流れ、PPE(防護服)の着脱について理解を深めました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

- ◆健康・医療・福祉フェスティバルや、ひらかた食育カーニバル、健康のつどいなど関係団体と連携した事業の実施にあたっては、部内各課の協力・連携を図り、来場者の安全確保に努めるとともに、事業を円滑に運営します。

実績	10月27日に健康・医療・福祉フェスティバル(参加者8,053人)、2月11日にひらかた食育カーニバル(7,287人)を、部内各課の協力・連携のもと、来場者の安全を確保して開催しました。健康のつどいについては、コロナウイルス感染防止のため中止としました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

- ◆平成29年度から実施している「福祉事務所研修」等を活用しながら、専門知識の習得や資質の向上だけでなく、福祉業務に関わる部内・部外の職員とも連携して業務が円滑に遂行できるよう取り組みます。

実績	<ul style="list-style-type: none"> ・職場研修等を活用して、窓口対応等業務における専門知識の習得や技術の向上に努めました。 ・生活保護業務に従事する査察指導員(SV)及び地区担当員(CW)を全国研修会に派遣し、スキルの向上に努めるとともに、全国の自治体職員との情報共有を図りました。また、職員の技能向上・育成を目的として、全体研修、育成研修及び新任研修を実施しました。さらに、生活困窮者自立支援制度に従事する相談支援員を大阪府が主催する従事者研修等に派遣し、スキルの向上に努めました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

- ◆介護予防・日常生活支援総合事業の介護予防効果をさらに高めるために、地域のリハビリテーション専門職等を活用した実施体制の充実を継続して推進します。

実績	行政のリハビリテーション専門職と地域のリハビリテーション専門職の協力・連携体制を継続し、要介護状態になっても参加し続けることのできる通いの場の活動支援を行いました。また、自立支援型地域ケア会議では、行政と民間のリハビリテーション
-----------	--

<p>専門職が役割分担しながら、支援に関わる様々な職種に対し、疾患の特徴を踏まえた生活行為の改善の見通しだけでなく自立支援に資する考え方を伝え、地域の中で専門性を活かした住民支援の活動につながるよう働きかけを行いました。</p>
<p>取り組みに対する達成状況 【 ○ 】</p>

- ◆朝礼・夕礼や定期的な課内会議などにおいて職員間で情報共有を行い、また、OJTを活用した新任職員のスキルアップを図るとともに、計画的に派遣研修に参加し、外部の知見を得る機会を増やすなど、個々の職員の能力向上・組織力向上に努めます。

<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉室では、毎日の朝礼・毎週の管理職による会議、また、毎月各グループで行う会議により、情報共有を図り、組織的に問題解決に取り組みました。 ・定期的に職場会議等を開催し、職員間で共有することで、職場の課題や懸案事項等の解決に向けて組織的に取り組みました。
<p>取り組みに対する達成状況 【 ○ 】</p>

5. 広報・情報発信

- ◆市ホームページを通して、健康福祉部の取り組み紹介ページやPR動画を活用し、健康・医療について情報発信を行います。

<p>実績</p> <p>「高齢者しっとこサイト」において情報発信を行い、同ページの見やすさ、わかりやすさ、更新状況などをチェックし、速やかに修正、更新を行うよう努めました。</p>
<p>取り組みに対する達成状況 【 ○ 】</p>

- ◆即時性が求められる緊急情報や制度改正などについては、ホームページの特性を生かし、タイムリーで分かりやすい情報発信に努めます。

<p>実績</p> <p>国・府からの法改正等の通知や新型コロナウイルス感染症に関する通知について、迅速にホームページに掲載し、事業者及び市民へ周知を行いました。</p>
<p>取り組みに対する達成状況 【 ◎ 】</p>

- ◆スマートフォンやタブレットの普及に鑑み、市からの案内文書やパンフレットにQRコードを掲載するなど、福祉に関する情報を身近に接することのできる環境の整備に努めます。

<p>実績</p> <p>障害者手帳を交付する際に配布する「福祉のてびき」に本市ホームページ内の窓口説明のページにアクセスできるQRコードを掲載しています。</p>
<p>取り組みに対する達成状況 【 ○ 】</p>

- ◆障害者差別解消のためのイベントの開催のほか、出前講座を活用した地域への周知活動を行うなど、市民意識の啓発・向上に努めます。

実績	障害差別に関する講演会などのイベントを「ほっこりひらかた 2019」で開催する等地域への周知活動を行いました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

- ◆地域の医療・介護情報をはじめ、さまざまなインフォーマルサービスや通いの場など、高齢者のための地域資源を情報提供する「暮らしまるごとべんりネット」の情報を定期的に更新し、機能拡充を検討します。

実績	各日常生活圏域のフォーマル・インフォーマルサービスの情報等を定期的に新しい情報へと更新しました。また、情報を更新していくなかで機能拡充すべき内容について検討しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

- ◆平成 31 年 3 月に作成した「第 2 次枚方市健康増進計画中間評価報告書」および「枚方市歯科口腔保健計画中間評価報告書」の概要版を作成し、関係機関および市民に配布し、市民の健康づくりの推進になるよう広く周知していきます。

実績	両計画の中間報告概要版をそれぞれ作成し、歯科口腔保健推進連絡会や各種イベント等の機会を捉えて配布・説明を実施しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

- ◆新たに「ひらかたポイント」の対象事業とする特定健康診査・特定保健指導・糖尿病性腎症重症化予防事業について、ひらかたポイント事業担当部署と連携し、メディア等でのひらかたポイント事業の PR に合わせて、受診・利用の勧奨を行います。

実績	ひらかたポイント事業担当部署と連携しながら、特定健康診査受診券に「ひらかたポイント」に関するチラシを同封し、特定保健指導の案内チラシに「ひらかたポイント」について掲載しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	